

西学区は、福山市中心部から西側へ広がる地域で、住宅とあわせ、商業施設なども立地しており、2011年（平成23年）現在、約4,100世帯が帯が暮らしています。



### 住民の手で作る 「助け合い台帳」

西学区自主防災協議会では、以前から、研修会や普通救命講習、防災資機材の使用訓練など、防災に関する知識や技能の向上に取組んできていましたが、もっと身近なところから活動を進めていこうと、災害時に、誰が誰を助けるかを決めた『助け合い台帳』の作成にとりかかりました。台帳の作成にあたっては、事前準備として、協議会を構成する町内会の会長などを集めて、勉強会を実施するなど、作成の工程がスムーズに進めることができるよう、工夫が凝らされています。また、作成された台帳は、町内会長が金庫に保管し、厳しく管理することで、個人情報保護にも努めています。

### 「黄色いリボン」で 効率的な救助活動を

西学区自主防災協議会が進めている取り組みの一つに、『黄色

いリボン掲出運動』があります。これは、災害が発生した際、被害を受けていない世帯が、玄関やベランダに黄色いリボンを掲げることで、救助が必要な世帯と、必要でない世帯とを

すばやく判断し、救助の効率を上げることを狙った取り組みです。

黄色いリボンは、平常時には、空の容器に入れて、家庭内の冷蔵庫などに保管しておきます。

この空容器の中には、黄色いリボンと併せて、そこに住んでいる人の名前や、緊急時の連絡先、かかりつけの病院などの情報を記載した防災カードを一緒に入れておくことで、緊急時における

### 助け合いの精神を より一層育むために

救助効率の更なる向上も図っています。



隣近所との繋がりに視点を据えた活動により、疎遠になりがちだった近所との付き合いも、再び生まれきています。また、災害時の行動を効果的に行うための訪問活動も、お互いの信頼関係を深めることに繋がっています。

災害に備えるためには、地域で一致協力して取組むことが非常に重要です。

ソーシャルキャピタル（社会における「信頼」や「繋がり」など）に関

する内閣府のとりまとめによると、「信頼があると自発的な協力が生み出され、自発的な協力が信頼を育てる。」という報告があります。

災害時に、地域としてその力を最大限に発揮するためには、まず住民一人ひとりが、その地域の一人であるという自覚を持ち、お互いの信頼関係を育てていくことが大切です。





# 長期計画に 基づいた取り組み

しきがおかちく

## 四季が丘地区自主防災 連絡協議会（廿日市市）

### 目標を見据えた 中・長期的な活動計画

住民の防災意識を高め、地域の防災力向上を図るための活動は、継続して取り組むことによってはじめて効果を表すものです。したがって、中・長期的な目標を設定するとともに、目標達成に向けた活動計画を立てることが、活動を進めるにあたって重要なものとなります。また、こうした活動目標を掲げ、計画に沿った組織活動を進めることによって、モチベーションも高まってきます。

2004年（平成16年）5月に結成された、四季が丘地区自主

防災連絡協議会（廿日市市）では、結成当初に、防災訓練や防災マップの作成、備品の整備など、7つの項目と、それらに係る作業項目の細分化を行いました。それをもとに、4年間の長期計画を策定し、活動を展開。取り組みの成果を確認しながら、目標達成に向けて着実に前進してきました。

計画を完遂した現在においても、さまざまな活動に取り組んでおり、四季が丘地区における共助の要として、その成果を積み上げています。

## 四季が丘地区

四季が丘地区は、廿日市市中心部から東へ約3kmほどのところに位置する戸建住宅中心の住宅街で、2011年（平成23年）現在、約2,100世帯が暮らしています。



## 四季が丘地区の活動の原点

四季が丘地区自主防災連絡協議会では、まず「災害とは何か」というところからスタートしています。

議論を進めていく中で、「自分達の地域は自分達で守る。」という考えが、いかに大切かを実感。「四季が丘地区の、手作りによる自主防災を成しえよう。」との思いが、活動の原点となっています。

## 町内会ごととの防災訓練から総合防災訓練へ

結成から2年後の2006年（平成18年）、結成当初の目標の一つであった、町内会ごととの防災訓練を初めて実施。それを皮切りに、2008年（平成20年）までに、四季が丘地区の11町内会全てで、防災訓練を実施しています。

これらの過程を経て、四季が丘地区全体での総合防災訓練を、2009年（平成21年）3月に

開催。この訓練には、四季が丘地区からの呼びかけにより、廿日市や廿日市市消防本部、廿日市警察署などの行政機関をはじめ、JA広島総合病院、エフエムはつかいちなど、多数の機関が参加しました。

## 協議会の取り組み これまでとこれから

ここでは、防災訓練のほかに、さまざまな取り組みに力を入れています。例えば、災害時のみならず、身近な人命救助にも必ず役に立つ普通救命講習は、四季が丘地区の多くの住民が受講しています。また、地区の防災マップは一からの手作りですし、有識者を招いての講演会や、意見交換なども定期的に実施しています。

中・長期的な計画は、自主防災活動の道程を鳥瞰することができます。有効なツールです。継続的な活動を行っていくためには、このような長期的な視点に立った計画を策定し、一步一步、着実に歩みを進めていくことも大切です。

### 四季が丘自主防災工程表

項目	作業	備考	15年		17年		18年		19年		20年	
			1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
自主防災連絡協議会	活動企画アドバイス		●	●	●		○	○	○	○		
	防災リーダー養成研修	防災要員研修 教育-防災訓練, 防火訓練			○			○				
	防災連絡協議会指書				○			○				
	緊急連絡網整備指書				○			○				
	防災マップ作成指書				○			○				
	インフラ整備指書				○			○				
	消防訓練				○			○				
	避難訓練				○			○				
	防火訓練				○			○				
	防災訓練				○			○				
	住民意識啓蒙講演				○			○				
	防災イベント企画・運営				○			○				
自主防災予算検討	自主防災会議満足				○			○				
	年度当初の継続化				○			○				
自主防災立ち上げ	協議会				○			○				
	各町内作成依頼・作業				○			○				
緊急連絡網(名簿関連)整備	問題点検討・ルール化・仕上げ				○			○				
	関係各所に周知徹底				○			○				
防災マップ作成	危険地域・既存設備・避難場所の現地調査				○			○				
	関係各所との調整				○			○				
	マップ作成				○			○				
緊急連絡インフラ整備	インフラ方針検討				○			○				
	インフラ整備(防災無線、スピーカー)				○			○				
防災倉庫備品整備	整備品検討				○			○				
	購入・整備				○			○				
マニュアル作成	基本マニュアルの作成				○			○				
	各戸配布				○			○				
自主防災訓練・活動	日本防災訓練リーダー研修会(自治体主催)				○			○				
	防災リーダー養成研修				○			○				
	消防訓練				○			○				
	避難訓練				○			○				
	防火訓練				○			○				
	防災訓練				○			○				
	緊急連絡訓練				○			○				
	避難訓練				○			○				
	炊き出し講習				○			○				
	防災倉庫備品定期チェック				○			○				



### 四季が丘 防災情報マップ

避難経路、避難所、危険箇所、防災施設などの情報を提供する地図。

- 避難経路 (赤い線)
- 避難所 (緑色のマーカー)
- 危険箇所 (黄色いマーカー)
- 防災施設 (青いマーカー)
- その他 (黒いマーカー)

自動・自動キーワード  
● 自分でできる訓練対策、備えをして、災害が発生したら、まず自分ら家族の安全を確保し、大切な家族を守ることが最優先です。次に近所や地域を守るために、災害発生時に適切な対応を講じて、安全確保をお願いします。

# 楽しく学べる

# 防災教育

# ツール

## Yes/Noゲーム 『クロスロード』

京都大学の矢守克也教授、慶應義塾大学の吉川肇子教授らにより制作された災害対応カードゲームです。

ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YesかNoかで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。



購入先：ブックセンタールネ

京都市左京区吉田泉殿町 京都大学西部会館 TEL：(075)-771-7336

## 避難所運営ゲーム 『HUG(ハグ)』



静岡県により開発された防災ゲームです。避難者の年齢や性別、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた図面にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験します。

参加者の思いのままに意見を出しあったり、話し合ったりしながらゲーム感覚で避難所の運営を学ぶことができます。

問合せ先：静岡県 危機管理部 危機情報課

静岡県静岡市葵区追手町 9-6 TEL：(054)221-3366

## 若年層向け教材 『ほっさいタック』

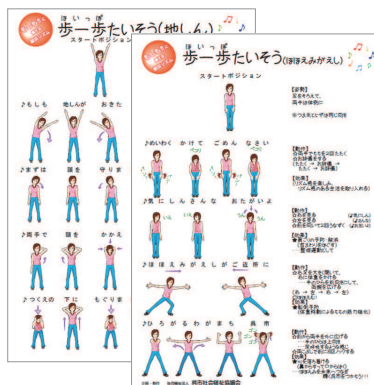
安全・安心の「最初の第一歩」を、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学ぶためのカードゲームです。防災や日常の危険から身を守るだけでなく、挨拶やマナーといった暮らしの習慣についても学ぶことができ、子どもたちが楽しみながらゲームをするうちに、安全・安心への「最初の第一歩」が自然と身につくように作られています。



問合せ先：一般社団法人 日本損害保険協会

東京都千代田区神田淡路町 2-9 TEL：(03)-3255-1294

## 呉市生まれの防災体操 『歩一歩たいそう』



呉市社会福祉協議会が制作した、私たちの生活の中にある、あらゆる危機への備えをまとめた「歌」と「健康体操」です。災害や事故への備えを促す歌詞に、予防医学の観点から健康体操を組み合わせており、防災のコツを楽しみながら学ぶ中で、健康づくりも出来ま

CD・DVDによる音や映像で、取扱いやすい教材になっており、現在では、仙台弁など各地の方言のバージョンが作られています。

問合せ先：呉市社会福祉協議会

呉市本町 9-21 TEL：(0823)25-3509

# 広島県は、 頑張る自主防災組織を、 応援しています。



活動をサポートする

## 自主防災アドバイザー

広島県では、県が養成した「ひろしま防災リーダー」をはじめ、自主防災組織の結成及び活動に関して、知識や技能を有する人材を、『自主防災アドバイザー』として登録し、県のホームページ等を通じて、みなさまへ紹介しています。

「自主防災組織を結成したいけれど、何から始めればよいか分からない。」「結成はしたものの、どのように活動を進めていけばよいか分からない。」などの悩みや、「実際に自主防災活動に取り組んでいる人の話を聞きたい。」「今後の活動の参考となるような取組み事例を、直接聞いてみたい。」といったことなどに、活用してください。

模範的な組織へ贈られる

## 自主防災組織知事表彰

広島県では、2008年度（平成20年度）から、県内で活動する自主防災組織を対象とした表彰制度を設けています。

これは、長年、高い水準を保ちながら活動を続けている自主防災組織や、一風変わった、特色ある取組みを展開している自主防災組

織など、他の模範となるような自主防災組織に対して贈られるもので、2011年度（平成23年度）までの4年間で、9つの自主防災組織が受賞しています。

受賞団体は、それぞれの地域における共助の要として、受賞後も積極的に活動を続けられています。



〒730-8511 広島市中区基町10番52号  
電話番号：(082) 513-2790【ダイヤル】  
ファクス：(082) 227-2122  
電子メール：[kikihoan@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:kikihoan@pref.hiroshima.lg.jp)